

2026 年度 授業計画(シラバス)

|                                            |      |             |                            |                            |              |                                       |               |
|--------------------------------------------|------|-------------|----------------------------|----------------------------|--------------|---------------------------------------|---------------|
| 学 科                                        |      | 理学療法士学科     |                            | 科 目 区 分                    | 専門分野         | 授業の方法                                 | 演 習           |
| 科 目 名                                      |      | 内部障害理学療法学Ⅱ  |                            | 必修/選択の別                    | 必修           | 授業時数(単位数)                             | 30 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年                                    |      | 2年          |                            | 学期及び曜時限                    | 後期           | 教室名                                   | 302 他         |
| 担 当 教 員                                    |      | 堀内 秀太郎 他    | 実務経験と<br>その関連資格            | 理学療法士として急性期病院または、回復期病院に勤務。 |              |                                       |               |
| 《授業科目における学習内容》                             |      |             |                            |                            |              |                                       |               |
| 循環器疾患、腎疾患に対する理学療法の理論や評価、治療技術を学ぶ。           |      |             |                            |                            |              |                                       |               |
| 《成績評価の方法と基準》                               |      |             |                            |                            |              |                                       |               |
| 課題レポート(10%)、筆記試験(90%)で評価する。                |      |             |                            |                            |              |                                       |               |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》                          |      |             |                            |                            |              |                                       |               |
| Crosslink 理学療法学テキスト 内部障害理学療法学 MEDICAL VIEW |      |             |                            |                            |              |                                       |               |
| 《授業外における学習方法》                              |      |             |                            |                            |              |                                       |               |
| 事前に指定テキストを読んでおく。授業後、内容の確認をしておく。            |      |             |                            |                            |              |                                       |               |
| 《履修に当たっての留意点》                              |      |             |                            |                            |              |                                       |               |
| 教科書等の忘れ物に注意し、課題があれば提出期限を厳守すること。            |      |             |                            |                            |              |                                       |               |
| 授業の方法                                      |      | 内 容         |                            |                            | 使用教材         | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容                 |               |
| 第1回                                        | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 循環器の理学療法について説明できる          |                            | テキスト<br>配布資料 | 教科書等を用いて講義<br>内容が記載されている<br>箇所を読んでおく。 |               |
|                                            |      | 各コマにおける授業予定 | 循環器の理学療法について               |                            |              |                                       |               |
| 第2回                                        | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 循環器の理学療法評価について説明できる        |                            | テキスト<br>配布資料 | 教科書等を用いて講義<br>内容が記載されている<br>箇所を読んでおく。 |               |
|                                            |      | 各コマにおける授業予定 | 循環器の理学療法評価                 |                            |              |                                       |               |
| 第3回                                        | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 循環器のリハビリテーションについて説明できる     |                            | テキスト<br>配布資料 | 教科書等を用いて講義<br>内容が記載されている<br>箇所を読んでおく。 |               |
|                                            |      | 各コマにおける授業予定 | 循環器のリハビリテーション              |                            |              |                                       |               |
| 第4回                                        | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 循環器のリハビリテーションについて理解・実施ができる |                            | テキスト<br>配布資料 | 教科書等を用いて講義<br>内容が記載されている<br>箇所を読んでおく。 |               |
|                                            |      | 各コマにおける授業予定 | 循環器リハビリテーションの演習            |                            |              |                                       |               |
| 第5回                                        | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 腎疾患の理学療法について説明できる          |                            | テキスト<br>配布資料 | 教科書等を用いて講義<br>内容が記載されている<br>箇所を読んでおく。 |               |
|                                            |      | 各コマにおける授業予定 | 腎疾患の理学療法について               |                            |              |                                       |               |

| 授業の方法 |      | 内 容         |                                               | 使用教材         | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容         |
|-------|------|-------------|-----------------------------------------------|--------------|-------------------------------|
| 第6回   | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 腎疾患の理学療法評価について説明できる                           | テキスト<br>配布資料 | 教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 腎疾患の理学療法評価                                    |              |                               |
| 第7回   | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 腎疾患のリハビリテーションについて説明できる                        | テキスト<br>配布資料 | 教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 腎疾患のリハビリテーション                                 |              |                               |
| 第8回   | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 腎疾患のリハビリテーションについて理解・実施ができる                    | テキスト<br>配布資料 | 教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 腎疾患リハビリテーションの演習                               |              |                               |
| 第9回   | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 問診・診療記録などからなぜ理学療法を必要としているかを考えられる              | テキスト<br>配布資料 | 教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | ケース内部障害患者 情報の提示                               |              |                               |
| 第10回  | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | スクリーニング方法について学ぶ<br>どんな検査をなぜするのか、優先順位について考えられる | テキスト<br>配布資料 | 教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | ケース内部障害患者 スクリーニング、検査・測定                       |              |                               |
| 第11回  | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 問題点のリスクアップとその優先順位を導くことができる                    | テキスト<br>配布資料 | 教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | ケース内部障害患者 統合と解釈                               |              |                               |
| 第12回  | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 目標設定の根拠や介入計画の立案について考える                        | テキスト<br>配布資料 | 教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | ケース内部障害患者 目標設定と介入計画                           |              |                               |
| 第13回  | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | SOAPの書き方や実際の臨床の先生を書く内容について学ぶ                  | テキスト<br>配布資料 | 教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | ケース内部障害患者 実際の介入経過                             |              |                               |
| 第14回  | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 実際計画通りに行った場合の目標達成状況について考えられる                  | テキスト<br>配布資料 | 教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | ケース内部障害患者 帰結評価                                |              |                               |
| 第15回  | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 本症例を通しての学びについて考えることが出来る                       | テキスト<br>配布資料 | 教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | ケース内部障害患者 推論と仮設形成                             |              |                               |